

西野だより



学校評価へのご協力ありがとうございました。皆様のご意見を今後の学校運営に活かしていきます。

以下の分析に関しまして、便宜上「よくできている」をA、「だいたいできている」をB、「あまりできていない」をC、「できていない」をDとして記述いたします。
 「学校で楽しく過ごしているか」を問う設問では、約65%の児童がA、約29%の児童がBと答え、約9割を超える児童が「よくできている」「だいたいできている」と答えています。保護者の皆様、地域の皆様の温かなサポートのおかげで、子どもたちは充実した学校生活を送っていると感じているようです。一方、C・Dと答えている児童もわずかに存在します。児童の思いや困りを受け取り、一人一人が楽しい学校生活を送ることができるよう、これからも教職員一丸となって取り組んでいきます。
 「自分から挨拶をしているか」を問う設問では、児童の約86%がA・Bと答えています。子どもたちは校内での挨拶だけでなく、社会見学やゲストティーチャーなど、学校外の人と関わる際にもしっかりと挨拶をしています。しかし、場面に応じた挨拶ができていないかとなると、まだ不十分です。相手を思いやり、心を込めた挨拶ができるよう、今後も指導していきます。
 「読書をしているか」を問う設問では、児童の約51%がC・Dと答えています。これは、前期の数値よりも増えてしまっています。学校図書館では司書教諭を中心にイベント企画を行っておりますが、子どもたちの読書の機会確保に直結していないようです。学校では今後も働きかけを行いますので、保護者の皆様もご協力ください。
 「下級生に優しく接しているか、上級生になることを楽しみにしているか」を問う設問では、児童の約95%がA・Bと答えています。本校では「なかよしタイム」などの縦割り活動を通して、異学年交流を積極的に行っています。下級生にとって、上級生は身近にいるお手本です。上級生も、それを意識して日々の学校生活に取り組んでいます。学校全体に「自分がお手本である」という意識が広がることで、子どもたちがお互いに高め合い、よりよい学校づくりにつながります。
 本校の学校教育目標は「自ら学ぶ力と 豊かな人間性をもち 社会にはばたく西野の子」の育成です。本校教職員はチームとして、今後も学校教育目標達成のために全力で取り組みます。保護者の皆様、地域の皆様のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

児童自己評価

A・・・よくできている B・・・だいたいできている
C・・・あまりできていない D・・・できていない

	A	B	C	D
学校で楽しく過ごすことができている。	65%	29%	5%	1%
友達に優しく、仲よく学習したり活動したりしている。	62%	33%	5%	0%
自分から挨拶している。	46%	40%	12%	2%
困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	34%	44%	19%	3%
授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	39%	41%	18%	2%
学校や家で、自分から読書をしている。	30%	19%	31%	20%
家で学年に合った家庭学習をしている。	30%	33%	20%	17%
学校のきまりや交通のルールを守っている。	64%	33%	2%	1%
健康に気をつけている。(早寝・早起き・手洗い・うがい・歯磨き)	45%	44%	10%	1%
学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	65%	31%	4%	0%
下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	59%	36%	4%	1%
将来の夢や目標がある。	70%	18%	7%	5%

保護者による外部評価

A・・・よくできている B・・・だいたいできている
C・・・あまりできていない D・・・できていない E・・・わからない

	A	B	C	D	E
ご家庭で、お子さんが楽しく学校へ行けるように働きかけている。	27%	68%	3%	1%	1%
お子さんが友達に優しく、互いに気持ちよく関わり、仲良く学校生活が送れるよう働きかけている。	26%	69%	3%	0%	2%
お子さんが家庭や地域で場面に合った挨拶ができるよう働きかけている。	23%	63%	13%	0%	1%
ご家庭でお子さんの話を聴いている。	35%	59%	5%	1%	0%
お子さんが意欲的に学習に取り組めるよう働きかけている。	15%	66%	17%	1%	1%
ご家庭で、お子さんが読書をするような環境作りを心掛けている。	7%	34%	42%	16%	1%
ご家庭で学年に応じた家庭学習(宿題)の習慣が身につくよう働きかけている。	12%	47%	31%	9%	1%
お子さんが、きまりや安全のルールを意識し、守るよう働きかけている。	34%	62%	4%	0%	0%
ご家庭で、お子さんが基本的な生活習慣が身につけられるよう働きかけている。	29%	62%	8%	0%	1%
お子さんが自分の安全を守る意識を高められるように働きかけている。	35%	59%	4%	1%	1%
お子さんが集団登校や縦割り活動などの異年齢集団を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう働きかけている。	27%	55%	12%	1%	5%
お子さんが夢や希望をもって将来の生き方や生活を考えられるような会話をしている。	22%	56%	16%	1%	5%
学校・家庭・地域が連携して子どもを育てている。	22%	59%	11%	2%	6%
教職員は気軽に質問や相談がしやすい。	33%	60%	4%	0%	3%

教職員自己評価

A・・・よくできている B・・・だいたいできている
C・・・あまりできていない D・・・できていない

	A	B	C	D
「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	24%	72%	4%	0%
互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんと呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身につくよう働きかけている。	36%	56%	8%	0%
進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもが意欲的に活動するよう指導している。	44%	52%	4%	0%
子どもの相談に適切に応じられている。	36%	60%	4%	0%
子どもが主体的に学習に取り組み、共に学び合い高め合う学習活動の工夫をしている。	16%	76%	8%	0%
読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動するよう働きかけている。	24%	56%	20%	0%
授業と家庭学習を連動させた課題や読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	16%	68%	16%	0%
きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着するよう指導している。	36%	60%	4%	0%
基本的な生活習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身につくよう指導している。	28%	68%	4%	0%
ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着するよう指導している。	24%	68%	8%	0%
児童が縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう指導している。	40%	56%	4%	0%
児童が将来の夢や目標をもてるよう働きかけている。	20%	68%	12%	0%
学校・家庭・地域が連携して子どもを育てている。	20%	76%	4%	0%
保護者が気軽に質問や相談がしやすいよう関係づくりをしている。	28%	68%	4%	0%

学校評価でいただいたご意見をもとに

・地域委員に関するご意見→地域の見守り活動など、たくさんの方々にお世話になっております。地域委員の活動は、学校ではなく地域が主体となるものです。それぞれのご家庭が無理のない範囲でご協力いただければと思います。活動内容などにつきましては、各地域の地域委員さんや運営委員さんにお尋ねいただければと思います。
 ・「すぐー」の運用に関するご意見→現在、欠席や遅刻などの連絡には、連絡アプリ「すぐー」を使用しております。当日の欠席などを8時20分までに送信していただくようお願いしているのは、学級担任が8時30分には学級での指導を開始するためです。学級担任は始業までに児童の出欠を確認できるよう業務を進めております。当日欠席の際は設定時刻までに「すぐー」で連絡をし、それ以降はお電話でお願いいたします。
 ・アンケートに関するご意見→社会情勢や子どもをとりまく環境が多様化・複雑化している現代において、学校だけでなく、保護者・地域の方々子どもを育てる当事者として、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を進めることが不可欠です。「学校評価」というと、学校が一方的に評価されるものと捉えられがちですが、京都市が進める「学校評価」は、学校・家庭・地域が自らを振り返り、子どものためにできることを考え、共に行動するきっかけとするものです。このことが、地域ぐるみで子どもを育てることに繋がるのです。アンケートの主語は「当事者」です。より主体的な意識をもってアンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。
 ・児童の持ち物に関するご意見→児童の持ち物については、年度当初に担当部署が検討、作成し、学校全体で共通理解を図っております。保護者の皆様からのご意見も踏まえ、児童が学習や学校生活に集中して取り組めるよう、持ち物に関する指導内容の検討を引き続き行っていきます。